

## 新高1

高1生は1講座が80分×4日間です。新高1生であればどなたでも無料で受講することができます。

英語	80分	英語の文を読み書きする上で最も重要となる「文型」「品詞」「句・節」を扱います。高校英語では1文あたりの単語量が増加し、構造も複雑になります。単語の意味をつなげた読み方ではなく、動詞に注目して文の骨組みである文型を把握し、修飾表現と修飾先に注目した読み方をする視点を養いましょう。
数学	80分	この春から新しく高校数学を始める方のための入門講座です。高校数学は数学I、II、IIIとA、Bの5つに分かれています。中でも数学IIは残り4つの科目の基礎となる重要な単元ばかりが集められています。この春期講習で一足早く高校数学の学習をスタートさせ、余裕のある高校生活を送りましょう。

## 新高2

1講座は4回で、特に記述がない限り100分/回です。

英語 T	150分	東京大、京都大、大阪大などの最難関国立大を志望する方を対象とする講座です。英文読解につながる発想法・文法理論を本質の理解にまで踏み込んで指導を行います。また、難易度の高い入試問題の解法の要点やその英文の背景にある知識まで、抽象度の高い英文を読破できる下地作りを行います。
英語 H		神戸大、大阪市大、大阪府大、同志社大などの難関大を志望する方を対象とする講座です。単語の意味を並べて日本語に直すという読み方ではなく、英文法の知識に基づいて、正しく英文の意味を捉える方法である構造分析を難易度が高い英文を用いて指導します。
英語 S		大阪府大、和歌山大、関関同立大、近畿大などを志望する方を対象とする講座です。単語の意味を並べて日本語に直すという読み方ではなく、英文法の知識に基づいて、正しく英文の意味を捉える方法である構造分析を指導します。
必修英文法（上級編）		英文法の理解を深めたい方を対象とする講座です。構文理解から英作文まで対応できるように、「時制」「助動詞」「仮定法」にじっくり演習と解説を行い、英文法の応用力を養います。基本事項の整理が行われていることを前提として指導を行っていきますので、事前に該当範囲の復習が必要となります。
必修英文法（標準編）		英文法の復習を中心に行いたい方を対象とする講座です。文法問題に対応できるように、「時制」「助動詞」「仮定法」にじっくり演習と解説を通して構文理解につながるように指導を行います。文法の基礎が固まっていない方や、春期講習から入会される方にもおすすめの講座です。
数学「指数・対数関数」 T		難関大を志望する方を対象とする数学の講座です。春期講習では指数・対数の基礎から解説し、基本事項と基本公式をマスターします。この単元は、単独での出題よりも方程式・不等式との融合問題として出題され、理系では数学IIIの微積分でも登場します。この講座では入試問題も扱いこの単元を制覇します。
数学「指数・対数関数」 H		数学II「指数・対数関数」の基本概念から解説し、基本公式とその使い方に力点を置いて解説します。対数関数では新たな記号が登場しますが、わかりやすい解説と問題演習を通して自由自在に扱えるよう訓練します。入試問題も扱い、4日間での単元をマスターします。
数学「指数・対数関数」 S		数学をこれから得意にしていきたい方を対象に、数学II「指数・対数関数」の基本概念から解説し、基本公式とその使い方に力点を置いて解説します。特に、対数関数では初めて習う記号が登場し、慣れるまで戸惑ってしまいますが、わかりやすい解説と問題演習を通して自由自在に扱えるよう訓練します。
数学「整数問題」 (上級編) / (標準編)		「整数」は最難関大では頻出で、思考力を問う難問が出題される単元です。また、共通テストでも選択問題として出題されるほか、近年では多くの大学で出題されています。この講座では、整数についての基本事項の整理から実際の入試問題まで、その解法やアプローチ方法を講義します。
現代文 H		良質の評論文を題材として、現代文読解の基礎となる客観的な読解法の習得を目標とした講座です。どのように読めば筆者の主張を的確に把握できるのか、どのように考えれば正解を導くことができるのか、という正攻法の読解法を指導します。
古文 H		未見の文章を目の前にしても自力で読むことができる力を身につけることを目標とした講座です。単語・文法を覚えただけでは読めません。これらの知識を【どのように使えば】本文内容を的確に把握できるのかを4日間の演習を通して理解することで、これから一年間の学習の指針を手に入れましょう。
物理 H		難関大を志望する理系の高2生の方を対象に、この1年間で理系物理の内容をほぼ1周する講座です。春期講習では、力学の「運動方程式」までを扱います。「見た目」が変わっても変わらない物理の「考え方」を指導していきますので、物理を得点源にしたいと考えている人はぜひ受講してください。
化学 H		京都大、大阪大、神戸大などの難関大の理系志望の方を対象に、ゼロからスタートし、1年間で標準的な入試問題を解けるレベルまで到達する講座です。春期講習では化学の基礎となる原子構造・周期表・化学結合・化学反応式の基本を講義・演習します。講義では暗記ではなく、理論的で応用が効く手法で解説していきます。

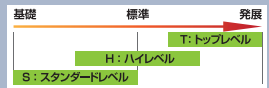
新高3

1講座は4回で、特に記述がない限り100分/回です。

英語T 150分	東京大、京都大、大阪大などの最難関国公立大を志望する方を対象とする講座です。難易度の高い長文問題を解きながら、英文の構造分析法、マクロ的な読解法、その英文の背景にある知識や英語的な発想法まで指導します。難関大で出題される抽象度の高い英文を読破できる実戦的な学力を育成します。
英語H	神戸大、大阪市大、大阪府大、同志社大などの難関大を志望する方を対象とする講座です。入試の長文読解で問われやすいthatやasなどの機能語に焦点を当て、その節や句をつなぐ働きや意味を把握した上で、難易度が高い文を適切に訳す技術の習得を目指します。
英語S(読解編)	和歌山大、関関同立大、近畿大などを志望する方を対象とする講座です。入試の長文読解で狙われやすい要点に絞り、単語を繋ぎ合わせて文の意味を考えるのではなく、文法と構文と論理関係から文の意味を考える読解力を養成します。S1とS2の2クラスがあり、レベルはS1>S2です。
英語S(文法編)	英文法知識を復習しながら、択一問題、正誤問題、整序問題などの問題形式に応じた解き方を指導します。私立大で出題される文法問題はもちろん、読解・作文が中心の国公立大入試にも活かすことができるよう、主要文法の基礎を確立します。
数学IAIIB-T	国公立大学の2次試験に数学を必要とする方を対象にしたハイレベル講座です。これらの大学で頻出分野となっている数学B「ベクトル」「数列」全般について、単なる解法の説明に終始せず、最難関大のレベルで必要となる数学的な発想方法に力点を置いて講義します。
数学IAIIB-H	難関大志望で、記述式の数学を必要とする方を対象とした講座です。春期は数学Bの「数列」「ベクトル」を扱います。入試標準レベルで最頻出となっている問題の解法を中心に解説し、自習問題を通じてそれらを自在に操れる実践力を養います。
数学IAIIB-S	これから入試数学の基礎を固めていきたい方を対象にした講座で、数学Bの「数列」「ベクトル」を扱います。単元の公式などを忘れてしまったという方も無理なくついていけるよう、基本事項の確認から始め、最終的に入試基本レベルの典型問題が確実に解けるようになることを目標に講義します。
数学Ⅲ-T	数学Ⅲ「複素数平面」を講義します。複素数を平面上の点に対応させることにより、幾何的な問題を計算で考察することができます。この複素数平面について、共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本問題から扱い、ハイレベルな入試問題に対応する力をつけます。
数学Ⅲ-H	数学Ⅲ「複素数平面」を基本から講義します。複素数を平面上の点に対応させることにより、幾何的な問題を計算で考察することができます。この複素数平面について、共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本問題から扱い、頻出問題に対応する力をつけます。
数学Ⅲ速習	この春期講習から数学Ⅲの内容をスタートし、夏までに主要単元を網羅、以降は難関大の入試問題に対応する力をつける演習を行う講座です。春は「複素数平面」を扱います。共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本事項をしっかり理解できるように講義します。
看護医療系数学IA	数学IAの中で、頻出単元は「2次関数」「場合の数・確率」「図形(三角比)」の3つとなります。この3つを習得することが看護医療系数学攻略のカギとなります。まず、この春期講習では「2次関数」について基本から1つ1つ説明・演習を行い、入試基礎力を養成しましょう。
国公立大現代文	この春期講習からスタートする、国公立大2次試験において現代文の記述が必要となる方対象の講座です。文章構造を論理的に読み取る方法、記述解答の組み立て方や思考手順など、入試に備える上で基本となる現代文の考え方や解法を講義します。文系の方はもちろん、京都大理系志望の方にもお勧めします。
私立大現代文	この春期講習からスタートする、関関同立大をはじめとする私立大入試において現代文が必要となる方対象の講座です。この講座では、文章に示されている意図を論理的に読み取る方法を指導します。そして、どのように考えれば問題を解くことができるのか、どのように書けば正解になるのかなど、入試に備える上で基本となる現代文の考え方や解法を講義します。

新高3生対象の講座案内は次のページに続きます。





新高3

1講座は4回で、特に記述がない限り100分/回です。

基礎強化現代文	「現代文が苦手」「現代文の点数が安定しない」「現代文をどう勉強すれば良いのかわからない」などの悩みを抱えている方を対象とした読解入門講座です。「読む」「解く」のどちらにも「正しい方法」があります。本講座で正攻法の読解を学び、これからの受験勉強の指針を手に入れましょう。
国公立大古文	この春期講習からスタートする、国公立大2次試験において古文が必要な方対象の講座です。身につけた語彙や文法をどのように使えば正確に読むことができ、点数につながる解答が書けるようになるのかを講義します。古文を得点源とするべく、なんとなくの読解から脱却しましょう。
私立大古文	この春期講習からスタートする、関関同立大をはじめとする私立大入試において古文が必要な方対象の講座です。語彙や文法の復習だけでなく、多くの受験生が苦手としている人物判定の基本もマスターします。知識を正しく使うことを覚えれば、「読む」ことも「解く」こともできることを実感しましょう。
共通テスト古文・漢文	この春期講習からスタートする、大学入学共通テストの古文・漢文対策の講座です。なんとなく問題文を読み、なんとなく答えを出し、成績の波が激しかったという人は、これからも同じような結果しか得られない可能性があります。本講座では成績の安定・向上に直結する読解法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めします。
古典文法復習講座A (用言・助動詞編) VOD	【単元：用言・助動詞】文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。「ポイント講義→演習→解説」の形式で基礎事項の理解を深め、文法問題や短文現代語訳問題を解く力を養うだけでなく、読解に使える文法力の習得を目指します。長文読解に向けて基盤となる単元をこの講座でマスターしましょう。
古典文法復習講座B (助詞・敬語編) VOD	【単元：助詞・敬語】文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。「ポイント講義→演習→解説」の形式で基礎事項の理解を深め、文法問題や短文現代語訳問題を解く力を養うだけでなく、読解に使える文法力の習得を目指します。読解力を大きく左右するこの単元をこの講座でマスターしましょう。
古典文法復習講座C (識別・和歌の修辞法編) VOD	【単元：識別・和歌の修辞法】文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。入試頻出の識別問題を制覇するための知識の整理を行い、最終関門となる和歌の四大修辞法の理解を目指します。本講座は「用言・助動詞・助詞・敬語」の基本知識を習得していることが前提となります。
物理T/H	大学入試標準～応用レベルの演習を行い、入試問題に対する実践力をつけていきます。春期講習では、運動方程式や力のモーメントを学習し、物体の運動を数理的に表現する力、また計算結果から現象を読み解く力を磨きます。この講座は力学を既に学習した人を対象としています。京都大、大阪大などの最難関大を志望する方はTクラス、神戸大や大阪市大、関関同立大などの難関大を志望する方はHクラスを受講してください。
化学T/H	理論化学から、範囲に限らず重要となる「原子構造」「化学結合」「結晶」「物質と化学反応式」を中心に入試問題演習およびその解説をしていきます。単に問題を解説するのではなく、各項目の基本事項を整理しながら、結果に至る解法のプロセスを重視して講義を進めていきます。東京大や京都大、大阪大などの最難関大を志望する方はTクラス、神戸大や大阪市大、関関同立大などの難関大を志望する方はHクラスを受講してください。
入試生物 VOD	生物を暗記科目と考えて、一問一答的に用語を丸暗記しても高得点は取れません。大切なことは、教科書レベルの基礎知識を正確に深く理解することです。そうすることで各分野の内容が繋がり応用力もつきます。授業では「板書」にもこだわっています。しっかりとノートに書きとめて、理解を深めるために役立ててください。
日本史	【単元：室町時代】勉強時間の限られた現役生が、入試で高得点を確保するためには丸暗記では限界があります。効率よく高得点を確保するための情報が凝縮された本講座の通史で、歴史の流れ（因果関係）を明確にして歴史を理解し、志望校に最適な問題を使った演習で効率よく成績向上を図りましょう。
日本史：文化史特講A (古代) VOD	【古代の文化：古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期文化】文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。
私立大世界史 150分	皆さんの苦手な正誤問題。例えば、「スペインの無敵艦隊は北イタリア諸都市の海軍に破れた」などです。こういう問題は、関連事項を知らなければ解けません。正解を導くためには物語を知っておく必要があります。この講習では過去問の演習を通じて、この物語がいかに重要かを認識していただきます。
入試政治経済 VOD	公民科目は暗記ではなく理解する科目です。そのような制度が必要となった理由・歴史的背景が必ずあります。その背景を理解することで飛躍的に点数が上がります。本講座では、暗記すべきところは暗記する、理解すべきところは理解する、これを明確に分けて講義しています。公民を得点源にできるよう、復習を徹底してください。